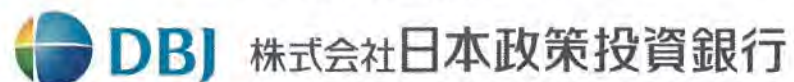


銀行名	伊予銀行
タイトル	公共施設移転新築事案をテーマとした行政とのPPP/PFI勉強会
取組み内容	1. 実施主体 主催：当行、いよぎん地域経済研究センター（当行関連会社） 協力：DBJ 2. 目的 公共施設マネジメントにおける民間活力の活用が検討されるなか、地公体の活動をフォローするため、また、PPP/PFI導入の機運を醸成し、まちづくりに寄与するために勉強会を開催した。 3. 実施内容 （1）某地区再開発にかかる文化施設新築移転案件について勉強会を実施し、個別の事例等を踏まえ、再開発にかかる課題について以下の意見交換を行った。（行政関係者14名が参加） A. 地元企業の活用 B. 他の文化・スポーツ施設との棲み分け C. 適正な価格の検討 D. 住民意見ヒアリングの場と議会对応 （2）本勉強会は地公体参加部署から好評であり、今後も継続して開催することとなった。この勉強会のなかで、新たなPPP/PFI事業案が判明しており、PFI導入の方向で検討を重ねていく。（H31年事業着手）

文化ホール等PFI事業の事例とポイントについて

2015年5月26日



地域企画部・松山事務所

著作権(C)Development Bank of Japan Inc. 2015

当資料は、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)により作成されたものです。

当資料は、松山市、伊予銀行、いよぎん地域経済研究センター及び当行間で検討／議論を行うことを目的に、今次勉強会参加者限りの資料として作成されたものであり、特定の取引等を勧誘するものではなく、当行がその提案内容の実現性を保証するものではありません。

当資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および当行が合理的と判断した一定の前提に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。また、ここに記載されている内容は、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

当資料のご利用並びに組みの最終決定に際しましては、ご自身のご判断でなされますよう、また必要な場合には顧問弁護士、顧問会計士などにご相談の上でお願い致します。

当行の承諾なしに、本資料(添付資料を含む)の全部または一部を引用または複製することを禁じます。

1-1. PPP(官民連携)とは

- 公共サービスの提供や地域経済の再生などの何らかの政策目的を持つ事業が実施されるにあたって
- 官(地方自治体、国)と民(民間企業、NPO、市民等)が
- 目的決定、施設建設・所有、事業運営など何らかの役割を分担して行うこと

<出典> 公民連携白書2006-2007

- 官と民の契約による合意
- この合意により、官と民が、公共サービスや公共施設の提供に必要なとなるスキルや資産(資源)を共有・分担する
- 官と民で、リスクとリワードを共有・分担する

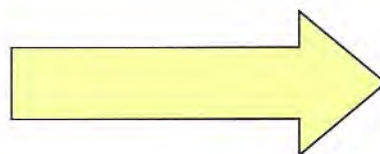
<出典> 米国PPP協会(NCPMP)

適切な役割分担・リスク分担の必要性

従来型手法の発想

官のみ または 民間のみが
全てのコストとリスクを負って
事業を遂行する

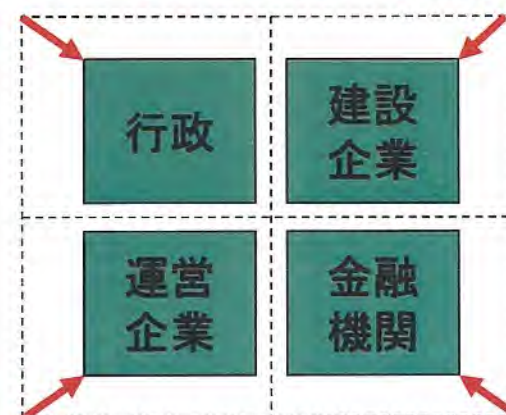
コストやリスク



現在求められている発想

それぞれのリスクをよく管理できる主体
を集める
→ 全体のコストとリスクが小さくなる
→ 事業としてのパフォーマンス向上

コストやリスクの総体も縮小



根本祐二(2006)「地域再生に金融を活かす」学芸出版社 pp.45-47より作成

1-2. PFIとは

PFI (Private Finance Initiative) の概念

1. 何を? ⇒ 公共施設等の**設計・建設・維持管理・運営**などを
2. どのように? ⇒ 民間の**資金・経営能力・技術的能力**等を活用して
3. 誰が? ⇒ 官と民の**適切な分担・連携**により
4. 目的は? ⇒ **効率的かつ効果的な公共サービスの提供**を実現

【対象施設】(PFI法(民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律、H11制定・施行)第2条第1項)

公共施設

道路、鉄道、港湾
空港、河川、公園、
水道、下水道、
工業用水道等



公用施設

庁舎
宿舍等

公益的施設等

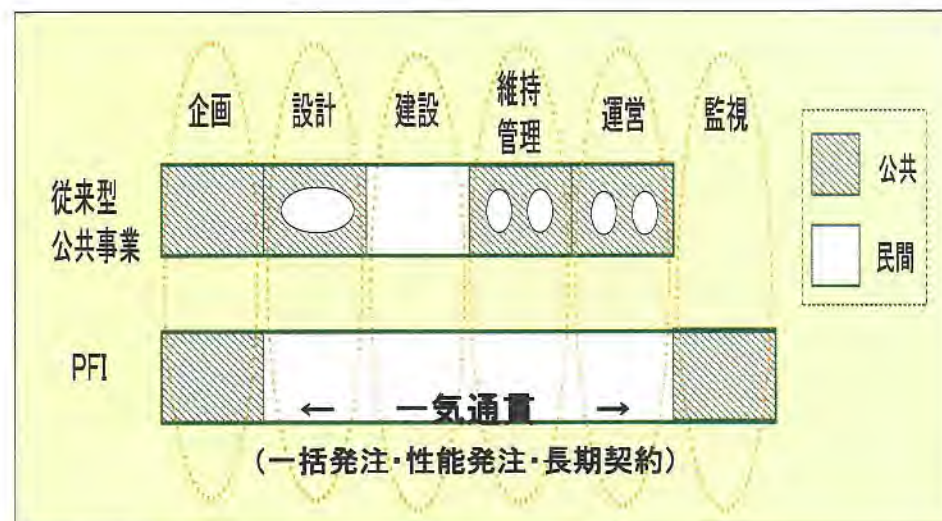
公営住宅
教育文化施設
廃棄物処理施設
医療施設
社会福祉施設
更生保護施設
駐車場
地下街等

その他の施設

情報通信施設、熱供給施設、新エネルギー施設
リサイクル施設、観光施設、研究施設



【官民の役割分担のイメージ(基本型)】



VFMの実現

※ H23PFI法改正により、賃貸住宅、船舶・航空機・人工衛星等が追加

銀行名	伊予銀行
タイトル	ファンドを活用したアーリーステージ企業の成長支援及びミドルステージ企業の 新事業展開支援
取組み内容	1. 概要 「いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド」(㈱農林漁業成長産業化支援機構、㈱いよぎんキャピタル、当行の出資で組成)及び、「いよエバーグリーン農業応援ファンド」(㈱日本政策金融公庫、㈱いよぎんキャピタル、当行の出資で組成)を組成し、平成26年度においては、一次産業者の新事業展開及び成長エンジンとしての資金支援を合計5件実行した。 2. 「いよエバーグリーン農業応援ファンド」(3件計45百万円実行) 財務基盤が弱く、成長段階の前向き資金の民間からの調達が難しい水準の若い企業に対して、エクイティファイナンスによりリスクを共有し、ファンドが株主として経営に参画することでサポートを行う。目の前の資金調達以外にも、経理や法務といった一般的に農業従事者が苦手とされる間接部門のアドバイスや、法人化に伴う所有と経営の分離・資本政策についてのアドバイスも実施する。 3. 「いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド」(2件143百万円実行) 地域を代表する中～大規模の一次産業事業者に対し、主力業務である一次産業から二次・三次産業に進出する際の新規事業に対するリスク負担として、エクイティファイナンスを実施する。二次・三次に関するノウハウ補完のためのパートナー企業との協力体制構築や、法人新設にかかる出資比率及び株主間の取り決め等に関して一次産業者が不利にならないように調整する役割も担う。

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



平成26年12月5日

番町記者クラブ各位

No. 14-245

株式会社 伊予銀行

株式会社 日本政策金融公庫 松山支店

「いよエバーグリーン農業応援ファンド」の第1号出資先が決定！

～日本政策金融公庫と共同組成した5ファンドの中で、全国初～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、平成26年12月5日に「いよエバーグリーン農業応援ファンド」の第1号出資案件が決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

このファンドは、国が農業法人の自己資本の充実を図り、事業発展を支援する「農業法人投資育成事業」に基づき、当行が日本政策金融公庫（以下、「公庫」と共に、平成26年11月に総額5億円の投資事業を開始したもので、公庫と共同組成した全国5つのファンド（投資事業有限責任組合）の中で、このたび、全国で初めて出資先が決定いたしました。

今後とも、地域農業の担い手となる農業法人への出資・経営支援を通じて、農業経営の自律的成長、地域農業者の所得増加、雇用機会の創出に貢献してまいります。

記

項 目	内 容
出 資 先 名	株式会社小林果園様（代表取締役 小林 聖知様）
所 在 地	愛媛県八幡浜市保内町宮内1番耕地427番地1
出 資 額	5百万円（総資本金10百万円の50%）
出資予定日	平成26年12月26日
出資期間	最長平成40年12月末まで
事業内容	柑橘の生産販売のほか、ジュース、ジャム、冷凍みかん等の加工品製造販売 ・県内有数のみかん生産地である八幡浜市で3代に渡って高品質のみかんを生産する農業生産法人で、加工品開発や販路開拓にも積極的に取り組んでいます。 ・特に「冷凍みかん事業」では、加工技術の高度化により高い歩留まり率を実現したほか、アフターサービス体制の整備により、関東方面の学校給食において高い評価を得ており、今後一層の拡大が見込まれています。
事業形態	農業生産法人
出 資 形 態	無議決権株式引受
出 資 経 緯	当社の新たな事業に意欲的な経営姿勢に共感し、先進的な取組みを支援していくため、今回出資に至ったものです。

以 上

本件についてのご照会は下記までお願いします。

ソリューション営業部（担当：桧垣・日野（和）・山路）

TEL 089-941-1141（内線：2824、2841、2822）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

平成27年3月25日

No. 15-057

株式会社 伊予銀行

「いよエバーグリーン農業応援ファンド」の第3号出資先が決定！

～地域の農業と食卓を元気にする高品質なきのこ栽培をサポート～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、「いよエバーグリーン農業応援ファンド」第3号出資案件が決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

このファンドは、国が農業法人の自己資本の充実を図り、事業発展を支援する「農業法人投資育成事業」に基づき、当行が日本政策金融公庫と共に、平成26年11月に総額5億円の投資事業を開始したものです。（ファンド存続期間：平成40年12月末まで）。

今回、出資が決定した株式会社大愛様（代表取締役 宮部 真司様）は、栽培から加工・製品化まで国産品質にこだわった安心・安全な菌床およびきのこ栽培を行っています。また、ご家庭で手軽にきのこを栽培できるキットを通信販売するなど新しい分野へもチャレンジしています。

今後とも、地域農業の担い手となる農業法人への出資・経営支援を通じて、農業経営の自律的成長、地域農業者の所得増加、雇用機会の創出に貢献してまいります。

記

項 目	内 容
出 資 先 名	株式会社大愛様（代表取締役 宮部 真司様）
所 在 地	愛媛県新居浜市船木 1727 番地 2
出 資 額	20 百万円
出資予定日	平成 27 年 3 月 30 日
事 業 内 容	・愛媛県におけるきのこ類栽培の先駆者的な存在で、長年の実績により積み重ねた技術とノウハウにより、高品質の菌床ならびに菌床きのこの生産・販売を行っています。 ・ご家庭で農作物を育てて味わう楽しさを手軽に満喫でき、またお子さまが農作物の成長を楽しみながら学ぶ教材として、きのこ栽培キット「によきっと」の通信販売事業も開始するなど、新しい分野へのチャレンジを続けています。
出 資 形 態	普通株式引受
出 資 経 緯	当社の新たな事業領域発掘に意欲的な経営姿勢に共感し、先進的な取組みを支援していくため、今回出資に至ったものです。

以 上

平成27年3月19日

番町記者クラブ各位

No. 15-051

株式会社 伊予銀行

「いよエバーグリーン農業応援ファンド」の第2号出資先が決定！

～ITを活用し遠隔栽培できる新しい農業システムをサポート～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、「いよエバーグリーン農業応援ファンド」第2号出資案件が決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

このファンドは、国が農業法人の自己資本の充実を図り、事業発展を支援する「農業法人投資育成事業」に基づき、当行が日本政策金融公庫（以下、「公庫」と共に、平成26年11月に総額5億円の投資事業を開始したものです（ファンド存続期間：平成40年12月末まで）。

今回、出資が決定した株式会社テレファーム様（代表取締役 遠藤 忍様）は、自宅のパソコンや携帯端末などを使って、農作物を遠隔栽培できるシステムを運営し、当社や契約農家が実際に愛媛県内の農場で栽培しています。農薬、化学肥料を一切使用しない安心・安全な有機野菜を提供でき、農業者の安定収入、雇用機会の創出に貢献することができます。

なお、公庫と共同組成した全国5つのファンド（投資事業有限責任組合）の中で、平成26年12月の株式会社小林果園に続き、全国で2番目の出資先決定となります。

記

項 目	内 容
出 資 先 名	株式会社テレファーム様（代表取締役 遠藤 忍様）
所 在 地	愛媛県松山市西長戸町 279 番地 17
出 資 額	20 百万円
出資予定日	平成 27 年 3 月 27 日
事 業 内 容	有機栽培による農産物の生産、農作物遠隔栽培WEBシステムの運営 ・当社は、有機栽培にて農産物を生産する農業法人です。 ・当社のビジネスモデルは、遠隔地にいる利用者が当社の農地を利用し、インターネット上で展開する「農作物遠隔栽培WEBシステム」により作付け等の指示を出し、当社はその指示に基づき栽培するものです。 ・利用者は自ら栽培に関わり、「安心・安全」な農作物を受け取ることができます。
法人形態	農業法人
出 資 形 態	無議決権株式引受
出 資 経 緯	当社の取組みは、ITを活用した地域で農業を支える新しい取組みであり、ひいては地域活性化につながることから、出資を決定したものです。

以 上

本件についてのご照会は下記までお願いします。

ソリューション営業部（担当：日野(和)・桧垣・山路）TEL089-941-1141（内線：2841、2824、2822）

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



平成26年5月30日

番町記者クラブ各位

No. 14-108

株式会社 伊予銀行

「いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド」の第1号出資先が決定しました！

～6次産業化事業体への出資・経営支援を通じて地域の農林水産業の発展をサポート～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、この度、「いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド」の第1号出資案件が決定しましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、農林漁業者の方が取り組む6次産業化事業体の組成・支援を目的として、政府出資のもと設立された株式会社農林漁業成長産業化支援機構と共に、平成25年4月に総額20億円規模で組成しました。

今後とも、6次産業化事業体への出資・経営支援を通じ、地域の農林水産業の付加価値向上による地域活性化及び雇用創出に取り組んでまいります。

記

出資案件の概要

項 目	内 容
出 資 先 名	株式会社佐田岬の鬼 （代表取締役 福島 大朝様）
所 在 地	愛媛県松山市南吉田町1497番地1
出 資 額	75百万円（総出資額150百万円の50%）
事業内容	しらすの2次加工※・販売 ※2次加工では、水揚げ後ボイルし冷凍した（1次加工）しらすを解凍・パック詰め・殺菌処理後、出荷可能な商品にまで仕上げます。
出資形態	普通株式引受
資金使途	加工場建設資金
事業目的	・株式会社佐田岬の鬼様（以下、「当社」といいます。）は、しらす漁業者の福島産業有限会社様（1次産業者）としらす加工・販売業者の朝日共販株式会社様（2次・3次産業者）が共同出資し設立する会社（6次産業化事業体）です。 ・当社は本件の資金を活用して、最先端の殺菌システムを導入し首都圏の量販店などの厳しい衛生基準をクリアする国内最高水準の食品衛生管理体制を構築し販路拡大を目指すものです。 ・更に将来的には、海外向けしらす加工品の製造・輸出へと展開する予定です。
出資理由	愛媛県の主要産品の一つであるしらすの漁業者と加工業者が、2次加工、販売へと繋がるバリューチェーンを形成し、しらすの高付加価値化を目指すものです。地域活性化に繋がる6次産業化の先進的な事例としてファンド出資を決定したものです。

以上

本件についてのご照会は下記までお願いします。

ソリューション営業部（担当：山路・桧垣・日野） TEL 089-941-1141（内線：2822、2805、2834）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



平成27年1月15日

No. 15-004

株式会社 伊予銀行

「いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド」の第2号出資先が決定しました！

～6次産業化事業体への出資・経営支援を通じて地域の農林水産業の発展をサポート～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、この度、株式会社農林漁業成長産業化支援機構と共同出資で組成した「いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド」の第2号案件としてファンガーデン株式会社様への出資が決定しましたのでお知らせいたします。

全国各地で組成されている農林漁業成長産業化ファンド（平成26年12月末時点50ファンド）において、複数の出資先が決定したファンドは少なく、中四国の金融機関では初めてとなります。

今後とも、6次産業化事業体への出資・経営支援を通じ、地域の農林水産業の付加価値向上による地域活性化及び雇用創出に取り組んでまいります。

記

○出資案件の概要

項 目	内 容
出 資 先 名	ファンガーデン株式会社 （代表取締役 高田 尚亮様）
所 在 地	愛媛県松山市鴨川一丁目8番5号
出 資 額	68百万円（総出資額136百万円の50%）
事業内容	種苗を中心とした「総合園芸小売店舗」※の運営 ※野菜苗や花苗販売に加え、園芸用品販売、農産物直売所の運営を行います。
出資形態	普通株式引受
資金使途	店舗建設資金
事業目的	・ ファンガーデン株式会社様は、接ぎ木野菜苗生産者のベルグアース株式会社様を中心とする1次産業者と、種苗・園芸資材販売者の伊予農産有限会社様を中心とする3次産業者の共同出資によって設立された会社（6次産業化事業体）です。 ・ 育苗の専門家が植付けや栽培方法の指導、店頭試食等の提案型販売を展開し、既存量販店ではあまり取り扱わない高付加価値商品の需要を喚起しリピーターの増加へとつなげることで新しい市場を開拓することを目指します。 ・ また、種苗生産者が消費者の声に直接触れることでニーズを把握することが可能となり苗生産に反映させることによって商品開発に生かします。
出資理由	野菜苗生産者が自ら小売事業に進出し、これまでにない販売方法で新しい需要を喚起することでバリューチェーンを形成し、野菜苗生産の高付加価値化を目指す取組みです。地域活性化に繋がる6次産業化の先進的な事例としてファンド出資を決定したものです。

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

銀行名	伊予銀行																														
タイトル	「四国地方銀行 台湾インバウンド商談会」の開催																														
取組み内容	1. 「四国地方銀行 台湾インバウンド商談会」とは、台湾/台北・高松便の就航により急増している台湾マーケットに注目し、台湾で開催する「観光」の商談会であり、平成 27 年 7 月 15 日に開催した。 本件は、交流人口の拡大に向けたインバウンド観光振興のため、四国 4 県の地方銀行（当行、阿波銀行、百十四銀行、四国銀行）が共同で行った取組みの 1 つである。 2. J T B 協定旅館・ホテル連盟の主催、四国地方銀行 4 行の共催で、四国インバウンド観光の振興により四国地域の地域経済活性化を図ることを目的としている。 3. 当日は、商談会・意見交換会に加え、四国への台湾観光客の誘客に積極的に取り組んでいる台湾旅行商業組合全国連合会より「台湾訪日マーケットセミナー」が開催された。 また、四国内の J T B 協定旅館・ホテル：23 社、観光関連企業・観光施設：20 社、四国ツーリズム創造機構の合計 44 社が出展を行い、台湾観光客の誘客のため、台湾旅行会社など約 50 社（約 50 名）の来場者と商談が行われた。 商談会概要 <table><tr><td>商談会名称</td><td colspan="2">四国地方銀行 台湾インバウンド商談会</td></tr><tr><td>目 的</td><td colspan="2">四国地方銀行で、四国インバウンド観光の振興による地域経済活性化を図る。</td></tr><tr><td>開 催 日 時</td><td colspan="2">平成 27 年 7 月 15 日(水) 10：00～16：00</td></tr><tr><td>開 催 場 所</td><td colspan="2">リージェント台北（台北晶華酒店 REGENT TAIPEI）</td></tr><tr><td>来 場 者</td><td colspan="2">台湾旅行社（約 50 社：約 50 名）</td></tr><tr><td>出 展 企 業</td><td colspan="2">（四国内）J T B 協定旅館・ホテル（23 社）、観光関連企業・観光施設（20 社）、四国ツーリズム創造機構</td></tr><tr><td>開催内容</td><td><第 1 部>10：00～14：00 商談会・意見交換会</td><td><第 2 部>14：30～16：00 台湾旅行商業組合全国連合会よりセミナー</td></tr><tr><td>主 催</td><td>J T B 協定旅館・ホテル連盟</td><td>当行、阿波銀行、 百十四銀行、四国銀行</td></tr><tr><td>共 催</td><td>当行、阿波銀行、 百十四銀行、四国銀行</td><td>四国ツーリズム創造機構</td></tr><tr><td>後 援</td><td>愛媛県、徳島県、香川県、 高知県、 四国ツーリズム創造機構</td><td>愛媛県、徳島県、香川県、 高知県</td></tr></table>	商談会名称	四国地方銀行 台湾インバウンド商談会		目 的	四国地方銀行で、四国インバウンド観光の振興による地域経済活性化を図る。		開 催 日 時	平成 27 年 7 月 15 日(水) 10：00～16：00		開 催 場 所	リージェント台北（台北晶華酒店 REGENT TAIPEI）		来 場 者	台湾旅行社（約 50 社：約 50 名）		出 展 企 業	（四国内）J T B 協定旅館・ホテル（23 社）、観光関連企業・観光施設（20 社）、四国ツーリズム創造機構		開催内容	<第 1 部>10：00～14：00 商談会・意見交換会	<第 2 部>14：30～16：00 台湾旅行商業組合全国連合会よりセミナー	主 催	J T B 協定旅館・ホテル連盟	当行、阿波銀行、 百十四銀行、四国銀行	共 催	当行、阿波銀行、 百十四銀行、四国銀行	四国ツーリズム創造機構	後 援	愛媛県、徳島県、香川県、 高知県、 四国ツーリズム創造機構	愛媛県、徳島県、香川県、 高知県
商談会名称	四国地方銀行 台湾インバウンド商談会																														
目 的	四国地方銀行で、四国インバウンド観光の振興による地域経済活性化を図る。																														
開 催 日 時	平成 27 年 7 月 15 日(水) 10：00～16：00																														
開 催 場 所	リージェント台北（台北晶華酒店 REGENT TAIPEI）																														
来 場 者	台湾旅行社（約 50 社：約 50 名）																														
出 展 企 業	（四国内）J T B 協定旅館・ホテル（23 社）、観光関連企業・観光施設（20 社）、四国ツーリズム創造機構																														
開催内容	<第 1 部>10：00～14：00 商談会・意見交換会	<第 2 部>14：30～16：00 台湾旅行商業組合全国連合会よりセミナー																													
主 催	J T B 協定旅館・ホテル連盟	当行、阿波銀行、 百十四銀行、四国銀行																													
共 催	当行、阿波銀行、 百十四銀行、四国銀行	四国ツーリズム創造機構																													
後 援	愛媛県、徳島県、香川県、 高知県、 四国ツーリズム創造機構	愛媛県、徳島県、香川県、 高知県																													

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



平成27年7月8日

No. 15-149

株式会社伊予銀行

株式会社阿波銀行

株式会社百十四銀行

株式会社四国銀行

四国4県の地方銀行による 「台湾インバウンド商談会」を開催します！

～台湾からの旅行者増加に向け、四国の地方銀行が連携して観光関連企業の皆さまのお手伝い～

四国の地方銀行4行（伊予銀行・阿波銀行・百十四銀行・四国銀行）は、JTB協定旅館ホテル連盟四国4支部および四国ツーリズム創造機構と連携して、台湾・台北市で「台湾インバウンド商談会」を開催しますので、下記のとおりお知らせします。

この商談会は、四国の旅館・ホテル（JTB協定旅館ホテル連盟四国4支部）の皆さまが平成22年度から毎年開催している「台湾インバウンド商談会」の今年度開催にあたり、四国4県の地方銀行が連携して四国の観光施設を運営する企業の皆さまに、台湾旅行会社との個別商談の機会を提供するもので、四国4県の地方銀行による協同開催は今回で2回目となります。

当日は、四国への台湾観光客の送客に積極的に取り組んでいる台湾旅行商業組合全国連合会の東北アジアマーケットリーダーを講師にお迎えし、台湾訪日客の動向や好まれる旅行商品などをわかりやすくご説明するセミナーもあわせて開催し、台湾から四国への旅行者増加のお手伝いをいたします。

記

○台湾インバウンド商談会

項 目	内 容
日 時	平成27年7月15日（水）10：00～16：00
場 所	リージェント台北（台北晶華酒店 REGENT TAIPEI）
出 展 者	JTB協定旅館・ホテル（23施設）、観光関連企業・観光施設（20先）
商談相手	台湾旅行会社50社・50名（予定）
内 容	＜第1部＞ 10：00～14：00 台湾旅行会社との個別商談会・意見交換会 （主催）JTB協定旅館ホテル連盟四国4支部 （共催）伊予銀行、阿波銀行、百十四銀行、四国銀行 （後援）愛媛県、徳島県、香川県、高知県、四国ツーリズム創造機構 ＜第2部＞ 14：30～16：00 台湾旅行商業組合全国連合会による台湾訪日マーケットセミナー （主催）伊予銀行、阿波銀行、百十四銀行、四国銀行 （共催）四国ツーリズム創造機構 （後援）愛媛県、徳島県、香川県、高知県

以 上

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

銀行名	伊予銀行																																																	
タイトル	「いよぎんビジネスプランコンテスト 2014」開催																																																	
取組み内容	1. 開催目的（2013年に引き続き2回目の開催） (1) 愛媛県内での起業・創業意識の醸成と独創性のあるビジネスプランを持つ個人・中小企業を発掘するとともに事業化を支援し、地域経済の活性化や雇用創出に繋げる。 (2) ビジネスプランコンテストを通じて、いよぎんみらい起業塾や一般社団法人愛媛ニュービジネス協議会（愛媛NBC）のメンバーとの交流の場を提供し、様々な角度から事業化を支援する。 2. 概要 <table><tr><th>項 目</th><th colspan="2">内 容</th></tr><tr><td>募集プラン</td><td colspan="2">革新的・創造的なビジネスプラン</td></tr><tr><td>募集期間</td><td colspan="2">平成26年11月4日（火）～平成27年2月9日（月）</td></tr><tr><td>応募資格</td><td colspan="2">原則として、愛媛県内に拠点をもち、新しい商品・サービスを提供する等、新たなビジネス活動に取り組もうとする個人及び法人 ①スタートアップ部門 新規性・独創性の高い事業アイディアを有する学生や、起業・創業を目指している個人 ②グロース部門 新商品・サービスの提供等、新たな事業展開に取り組む法人及び個人事業主</td></tr><tr><td>表 彰</td><td colspan="2"><table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2">内 容</th></tr><tr><th>スタートアップ部門</th><th>グロース部門</th></tr><tr><td>最優秀賞(伊予銀行賞)</td><td colspan="2">100万円＋副賞 ※両部門の中から最も優れたビジネスプランを1先選出</td></tr><tr><td>優秀賞</td><td>30万円＋副賞</td><td>50万円(愛媛NBC賞)＋副賞</td></tr><tr><td>奨励賞</td><td>10万円×2先</td><td>10万円×2先</td></tr></table></td></tr></table> 3. 応募状況 <table><tr><th>内 訳</th><th>人数</th><th>内 訳</th><th>人数</th></tr><tr><td rowspan="2">スタートアップ部門</td><td rowspan="2">40</td><td>男性</td><td>19</td></tr><tr><td>女性</td><td>31</td></tr><tr><td rowspan="2">グロース部門</td><td rowspan="2">75</td><td>学生(男女)</td><td>24</td></tr><tr><td>一般企業</td><td>41</td></tr><tr><td>合計</td><td>115</td><td>合計</td><td>115</td></tr></table> 4. 今後の取組み 営業店、本部、外部支援機関が連携しながら、創業、事業化に向けた個別支援を積極的に実施していく。	項 目	内 容		募集プラン	革新的・創造的なビジネスプラン		募集期間	平成26年11月4日（火）～平成27年2月9日（月）		応募資格	原則として、愛媛県内に拠点をもち、新しい商品・サービスを提供する等、新たなビジネス活動に取り組もうとする個人及び法人 ①スタートアップ部門 新規性・独創性の高い事業アイディアを有する学生や、起業・創業を目指している個人 ②グロース部門 新商品・サービスの提供等、新たな事業展開に取り組む法人及び個人事業主		表 彰	<table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2">内 容</th></tr><tr><th>スタートアップ部門</th><th>グロース部門</th></tr><tr><td>最優秀賞(伊予銀行賞)</td><td colspan="2">100万円＋副賞 ※両部門の中から最も優れたビジネスプランを1先選出</td></tr><tr><td>優秀賞</td><td>30万円＋副賞</td><td>50万円(愛媛NBC賞)＋副賞</td></tr><tr><td>奨励賞</td><td>10万円×2先</td><td>10万円×2先</td></tr></table>		項目	内 容		スタートアップ部門	グロース部門	最優秀賞(伊予銀行賞)	100万円＋副賞 ※両部門の中から最も優れたビジネスプランを1先選出		優秀賞	30万円＋副賞	50万円(愛媛NBC賞)＋副賞	奨励賞	10万円×2先	10万円×2先	内 訳	人数	内 訳	人数	スタートアップ部門	40	男性	19	女性	31	グロース部門	75	学生(男女)	24	一般企業	41	合計	115	合計	115
項 目	内 容																																																	
募集プラン	革新的・創造的なビジネスプラン																																																	
募集期間	平成26年11月4日（火）～平成27年2月9日（月）																																																	
応募資格	原則として、愛媛県内に拠点をもち、新しい商品・サービスを提供する等、新たなビジネス活動に取り組もうとする個人及び法人 ①スタートアップ部門 新規性・独創性の高い事業アイディアを有する学生や、起業・創業を目指している個人 ②グロース部門 新商品・サービスの提供等、新たな事業展開に取り組む法人及び個人事業主																																																	
表 彰	<table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2">内 容</th></tr><tr><th>スタートアップ部門</th><th>グロース部門</th></tr><tr><td>最優秀賞(伊予銀行賞)</td><td colspan="2">100万円＋副賞 ※両部門の中から最も優れたビジネスプランを1先選出</td></tr><tr><td>優秀賞</td><td>30万円＋副賞</td><td>50万円(愛媛NBC賞)＋副賞</td></tr><tr><td>奨励賞</td><td>10万円×2先</td><td>10万円×2先</td></tr></table>		項目	内 容		スタートアップ部門	グロース部門	最優秀賞(伊予銀行賞)	100万円＋副賞 ※両部門の中から最も優れたビジネスプランを1先選出		優秀賞	30万円＋副賞	50万円(愛媛NBC賞)＋副賞	奨励賞	10万円×2先	10万円×2先																																		
項目	内 容																																																	
	スタートアップ部門	グロース部門																																																
最優秀賞(伊予銀行賞)	100万円＋副賞 ※両部門の中から最も優れたビジネスプランを1先選出																																																	
優秀賞	30万円＋副賞	50万円(愛媛NBC賞)＋副賞																																																
奨励賞	10万円×2先	10万円×2先																																																
内 訳	人数	内 訳	人数																																															
スタートアップ部門	40	男性	19																																															
		女性	31																																															
グロース部門	75	学生(男女)	24																																															
		一般企業	41																																															
合計	115	合計	115																																															

この空の下に、
眠っているアイデアが
あるはずだ。

学生や
女性起業家の
応募大歓迎！

[あなたのアイデアが、世界を変えるかもしれない]

いよぎん ❷ IYO BANK Business Plan Contest ❷

ビジネスプランコンテスト2014

応募期間 平成26年11月4日(火)～平成27年2月9日(月)必着

応募部門	スタートアップ部門 学生・個人の方	グロース部門 法人・個人事業主
最優秀賞 (伊予銀行賞)	100万円 + 副賞	最も優れた ビジネスプラン
優秀賞	30万円 + 副賞	50万円 + 副賞 (愛媛NBC賞)
奨励賞	10万円 (2先)	10万円 (2先)



伊予銀行

いよぎん みらい起業塾

(平成26年9月25日現在)

いよぎん ビジネスプランコンテスト2014 募集要項

愛媛県内の地域経済の活性化ならびに雇用創出につなげるため、これから新規事業を起こそうとする中小企業または個人を発掘・支援する「いよぎんビジネスプランコンテスト2014」を開催します。ずっとあたためてきたアイデア、革新的な技術、新たな市場の開拓などの、これからの愛媛を活性化する創造的で新しいビジネスプランを、ぜひこの機会にご応募ください！学生や女性のご応募もお待ちしております！！このコンテストへの応募者は、「いよぎん みらい起業塾」及び一般社団法人愛媛ニュービジネス協議会メンバーと交流することにより、様々な角度からの事業化にかかる支援を受けられます。

応募部門	スタートアップ部門 学生・個人の方	グロース部門 法人・個人事業主
最優秀賞 (伊予銀行賞)	100万円＋副賞 最も優れたビジネスプラン	
優秀賞	30万円＋副賞	50万円＋副賞 (愛媛NBC賞)
奨励賞	10万円(2先)	10万円(2先)

副賞 事業化を強力にバックアップ！	◎いよぎんみらい起業塾のネットワークを通じて、事業化へ経営面アドバイスや起業支援補助金申請のサポート。 ◎各地域のニュービジネス協議会で開催されている商談会への出展支援。 ◎一般社団法人愛媛ニュービジネス協議会のメンバーとの交流会の開催や人的交流。 ◎日本ニュービジネス協議会連合会主催の全国コンテストへ愛媛代表として推薦。 ◎一般社団法人愛媛ニュービジネス協議会の年会費3年間無料。(年会費：個人3万円、法人6万円)
----------------------	--

※但し、各賞該当なしの場合は表彰を見送ります。

募集期間	平成26年11月4日(火)～平成27年2月9日(月) (※必着)
応募対象	原則として、愛媛県内に拠点をもち、新しい商品・サービスを提供する等、新たなビジネス活動に取り組もうとする個人及び法人 ■スタートアップ部門…新規性・独創性の高い事業アイデアを有する学生や、起業・創業を目指している個人 ■グロース部門…新商品・サービスの提供等、新たな事業展開に取り組む法人及び個人事業主
応募方法	・伊予銀行または愛媛NBCのホームページより「応募申込書」をダウンロードしてください。 ・応募申込書に必要事項を記入のうえ、電子メールまたは郵送により提出してください。
審査基準	書類審査・プレゼン審査 共通 【新規性・独創性】他に類似した事業が少なく、アイデアの着眼点が優れているか 【市場性・成長性】ターゲットが明確で、市場及び事業の成長性が見込めるか 【実現可能性】事業計画の数値の具体性や、根拠等の裏付けが明確であるか 【地域貢献度】雇用の創出、地域経済の活性化への貢献が見込めるか プレゼン審査 【経営者の資質】事業に対する熱意や、業務遂行能力を有しているか
審査方法	①応募書類による1次審査(書類審査)を実施 ➡ ②1次審査通過者による最終審査(プレゼンテーション・面接審査)を実施 ※ 書類審査は、当行及び愛媛ニュービジネス協議会が実施します。 ※ 最終審査は、愛媛ニュービジネス協議会及び、伊予銀行グループの関係者のほか県内学識経験者、県外から特別審査委員を招聘し実施します。
審査及び表彰日程	●平成27年3月(応募申込書による1次審査) ●平成27年4月中旬(書類審査合格者による2次審査) ●平成27年5月19日(最終審査・表彰式)

応募にかかる留意事項／①応募プランの知的所有権については、応募者に帰属します。②応募するアイデアや事業内容に特別なノウハウや営業上の秘密事項がある場合には、応募者の責任で権利の保全をします。③応募者の氏名、内容、応募のために提出された書類はコンテスト審査にかかる事項を除き、原則非公開としますが、情報開示のご承諾を頂いた場合は、情報を開示させていただく場合があります。④入賞したアイデアや事業内容については、提案者名、内容等について公表します。⑤提出いただいた応募書類等は返却しません。控えなどは、応募者の責任で行ってください。⑥コンテストへの参加費並びに表彰式への参加料は無料です。ただし、交通費・調査費・通信費およびその他の費用については、各自が負担ください。⑦審査内容、審査結果に対する個別の問い合わせには応じられません。⑧応募資格に対する虚偽の事実や、募集要項に対する違反があった場合には、失格、受賞取り消しとする場合があります。⑨賞金は、(株)伊予銀行からの出資・融資ではございません。また、税務上の取り扱いについては、税理士等の専門家にご相談ください。⑩賞金(最優秀賞、優秀賞等)を事業化目的以外に使用した場合には、返還を求めることがあります。 ※応募者は、上記留意事項をあらかじめ承るうえで応募申込してください。

主催：株式会社 伊予銀行 協賛：一般社団法人愛媛ニュービジネス協議会

後援：四国経済産業局、愛媛県、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町、愛媛県商工会議所連合会、愛媛県商工会連合会、えひめ産業振興財団、愛媛県中小企業診断士協会、愛媛大学、松山大学、新居浜工業高等専門学校、EHIME Venture Networking、株式会社いよぎん地域経済研究センター、いよぎんキャピタル株式会社

●お問い合わせ・応募先

いよぎん ビジネスプランコンテスト 2014 事務局 TEL.089-941-1141

伊予銀行ソリューション営業部 担当：岡山、漆原

〒790-8514 愛媛県松山市南堀端町1番地 E-mail: iyo-busicon@iyobank.co.jp FAX.089-946-9110

伊予銀行ホームページ <http://www.iyobank.co.jp/>

いよぎん ビジネスプランコンテスト

検索

銀行名	伊予銀行
タイトル	西条市が推進する総合 6 次産業都市構築への支援
取組み内容	1. 西条市が推進する総合 6 次産業都市構築において、出口戦略を担うべく設立された（株）サンライズ西条加工センターへの支援を通じた支援を実施中である。 2. 住友化学（株）、西条市が中心となって当社設立の具体的検討を開始した際、事業計画作成支援の依頼があり、当行も地域農業への波及効果など本件取組みの意義は大きいと判断し、検討に参画している。 3. 当社設立に際し、銀行本体にて 392 万円（4%）の出資参加をおこなった。 4. その後、次のような支援を継続的に実施中である。 （1）当行企画による野菜仕入商談会を開催（愛媛、高知、香川から 11 社参加）。 （2）香川県の冷蔵倉庫事業者とのマッチングにより香川県に物流拠点を確保。 （3）資金調達として総務省「地域経済循環創造事業交付金」の利用を提言、連携金融機関として参加（50 百万円採択）。 （4）当社、当行、愛媛銀行、西条産業情報支援センターの 4 社コンソーシアムにて、H26 年度経済産業省「地域資源活用ネットワーク構築事業」の採択を受け活動。 A. 四国 4 県での農業シンポジウム開催 B. アグロイノベーション 2014（東京ビックサイト）に共同出展 C. 農産物販売ネットワーク（九州～関西）の需要先調査 （5）平成 27 年 5 月、297 万円の追加出資実施。

銀行名	伊予銀行
タイトル	環境問題への取り組み
取り組み内容	環境問題に取り組む団体等を支援する仕組みを構築するとともに、当行自身も「森づくり」にフォーカスしつつ、各種の環境問題対策に取り組んでいる。 ●創業 130 周年（平成 20 年）を記念して設定した「公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』」により、環境問題に取り組んでいる団体等に助成金を贈呈した。26 年度の実績は、11 先に対して 4,050 千円を助成した。（これまでの累計は 92 先に対して 32,974 千円） ●愛媛県の「企業の森」制度に則って地公体等と連携し、愛媛県内 4 か所に「伊予銀行エバーグリーンの森」を設け、植樹や下草刈り等の森林保全活動に取り組んでいる。26 年度の実績は、3 回活動し 130 名の行員がボランティア活動を行った。 ●当行に事務局を設置し、愛媛県・松山市・地元企業に呼びかけ、平成 22 年に「『森のあるまちづくり』をすすめる会」が発足した。本会では、会員企業が社有地等に植樹し、ふるさと愛媛を緑豊かな地域にしていく活動を行っている。26 年度の実績は、4 回で 369 名が参加し、2,700 本の植樹を行った。（これまでの植樹累計本数は 44,000 本超）

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



番町記者クラブ各位

平成27年2月6日

No. 15-024

株式会社 伊予銀行

「エバーグリーン」の森」づくり活動実施のお知らせ ～豊かな森林を次の世代に残すために～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、大洲市阿蔵において「エバーグリーン」の森」づくり活動を実施いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

この活動は、愛媛県の「企業の森」制度に則して、平成20年に愛媛県、大洲市、（財）愛媛の森林（もり）基金と「森林（もり）づくり活動協定」を締結したもので、平成25年3月には新たに2箇所の活動場所を加え、愛媛県内4箇所の森林において活動しております。

今回の活動場所となる「伊予銀行エバーグリーン」の森」大洲は、大洲市の中心市街地近くに位置しており、このすばらしい森林を子どもたちに引き継ぐため、愛媛県および大洲市と協力し、植樹活動や椎茸の植菌体験を実施いたします。なお、「伊予銀行エバーグリーン」の森」大洲の活動は、今回で6回目となります。

なお、愛媛県から、昨年度の「エバーグリーン」の森」づくり活動全体で吸収したCO₂換算量は5.4トンと認証していただきました。

記

○「エバーグリーン」の森」づくり活動

項 目	内 容
日 時	平成27年2月14日（土） 9：30～ 開会式 10：00～ 植樹活動 11：00～ 椎茸植菌 11：30 解散
開催場所	「伊予銀行エバーグリーン」の森」大洲（大洲市阿蔵・高山） ※詳細は別紙地図をご参照ください。
活動内容	・植樹（200本程度） ・椎茸の植菌体験
参加人数	当行行員のボランティア約60名
そ の 他	少雨決行

以 上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。
広報CSR室（担当：藤田） TEL 089-941-1141（内線：2251）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

○「伊予銀行エバーグリーンの森」大洲

所在地	大洲市阿蔵・高山
面積	7.62ヘクタール
森林所有者	大洲市
森林の概要	「伊予銀行エバーグリーンの森」大洲は、大洲市中心市街地と肱川をはさんで位置していますが、松枯れ被害の拡大により森が荒廃していました。この自然環境・生活環境と一体となった森は、未来に引き継ぐ大切な里山であり、市民等が自然環境に親しむ場としていくためにも、植栽による再生が必要な場所です。
活動内容	定期的に当行行員が中心となって、森林と親しむ環境整備を図ります。具体的には、これまで実施した広葉樹を中心とした植栽部分について、環境保全のために下草刈りを行います。

○「エバーグリーンの森」づくりにおける取組み

- ・当行役職員等による森林づくり活動（ボランティア）
- ・協定森林における森林づくり活動等に対する寄付（毎年度1百万円、計5回）
- ・活動内容の情報発信

○所在地図



感謝の心をこめて

Challenge & Smile



番町記者クラブ各位

平成27年3月3日

No. 15-037

株式会社 伊予銀行

「エバーグリーンの森」づくり活動実施のお知らせ ～豊かな森林を次の世代に残すために～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、東温市で「エバーグリーンの森」づくり活動を実施いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

この活動は、愛媛県の「企業の森」制度に則して、平成20年に愛媛県、大洲市、（財）愛媛の森林（もり）基金と「森林（もり）づくり活動協定」を締結したもので、平成25年3月には新たに2箇所の活動場所を加え、愛媛県内4箇所の森林において活動しております。

今回で6回目の活動となる「伊予銀行エバーグリーンの森」東温は、松山平野を潤している重信川支流の一つ、本谷川の上流域に位置し、水源の保全に重要な役割を担っており、子どもたちに残す貴重な財産として、愛媛県のご協力のもと植樹活動や椎茸の植菌活動を実施いたします。

なお、愛媛県から、昨年度の「エバーグリーンの森」づくり活動全体で吸収したCO₂換算量は5.4トンと認証していただきました。

記

○「エバーグリーンの森」づくり活動

項 目	内 容
日 時	平成27年3月7日（土） 9：30～ 開会式、記念撮影 9：45～ 植樹活動 11：00～ 椎茸植菌 11：30 解散
開催場所	「伊予銀行エバーグリーンの森」東温（東温市松瀬川） ※詳細は別紙地図をご参照ください。
活動内容	・植樹（ヒノキ200本程度） ・椎茸の植菌体験
参加人数	当行行員のボランティア約40名
そ の 他	少雨決行

以 上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。
広報CSR室（担当：藤田） TEL 089-941-1141（内線：2251）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

○伊予銀行エバーグリーンの森 東温

所在地	東温市松瀬川
面積	25.83ヘクタール
森林所有者	愛媛県
森林の概要	「伊予銀行エバーグリーンの森」東温は、松山平野を潤している重信川支流の一つ、本谷川の上流域に位置し、水源保全に重要な役割を担っています。40年生以上のスギ、ヒノキが深い森を形成していますが、伐採期に差ししかかっており、更新のためにも計画的な間伐と新たな植栽が必要とされています。
活動内容	水源地域に位置していることから、木々の生長を促し水源涵養力の維持向上を図るため、定期的に当行行員が中心となって、森林内の下草刈りを行います。また、樹木の生育を促すため、雪害に遭った樹木の伐倒作業を行います。

○「エバーグリーンの森」づくりにおける取組み

- ・当行役職員等による森林づくり活動（ボランティア）
- ・協定森林における森林づくり活動等に対する寄付（毎年度1百万円）
- ・活動内容の情報発信

○所在地図



平成27年3月31日

No. 15-070

株式会社 伊予銀行

番町記者クラブ各位

公益信託 伊予銀行環境基金「エバーグリーン」の助成対象先を募集します

～ふるさとの豊かな自然を次世代に残すために～

株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、公益信託 伊予銀行環境基金「エバーグリーン」の平成27年度助成対象先を募集しますので、下記のとおりお知らせいたします。

同基金は、環境保護活動に積極的に取り組まれている皆さまのお役に立ちたいとの思いから、平成20年3月に創業130周年を記念して創設したものです。創設から現在までの間に、92先の団体の皆さまに合計3,297万円を助成しています。

記

○募集概要

項 目	内 容
助 成 対 象 者	愛媛県内に主たる活動拠点がある、公益法人、特定非営利活動法人、学校、任意団体（法人格の有無は問わない）等、若しくは個人
助 成 対 象 事 業	自然環境保護活動等
募 集 期 間	平成27年4月1日（水）～平成27年8月31日（月）
助 成 金 額	原則として1件50万円以内
選 考 通 知	平成27年10月頃開催予定の運営委員会にて決定後書面にて通知
応 募 方 法	所定の「申請書」にご記入いただきご応募ください。
申請書取得方法	以下、①～③のいずれかの方法で取得ください。 ①当行本支店窓口で受領 ②当行ホームページからダウンロード ③三井住友信託銀行ホームページからダウンロード
申請書提出方法	以下、①、②のいずれかの方法でご提出ください。 ①伊予銀行本支店窓口へのご提出 ②三井住友信託銀行リテール受託業務部へのご郵送

※詳細は、別添の募集要項をご参照ください。

以 上

本件についてのご照会は下記までお願いいたします。
広報CSR室（担当：藤田） TEL089-941-1141 （内線：2251）

公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』申込受付のお知らせ

この公益信託は、伊予銀行の発展を支えていただいた地域社会に貢献するため、美しい自然景観に恵まれた愛媛県内の自然を次代に引継ぎ、豊かで快適な地域環境を創造する活動を支援し、もって自然環境及び生物多様性の保全に寄与することを目的として発足したものです。

このたび、平成27年度の助成申し込みの受付を下記募集要項により行うことにいたしましたので、文系・理系を問わず広く応募ください。

【募集要項】

1. 助成対象

(1) 助成対象者

愛媛県内に主たる活動拠点がある、公益法人、特定非営利活動法人、学校、任意団体(法人格の有無は問わない)等、若しくは個人。

(2) 助成対象事業

- ①森林、海岸、河川、緑地、池沼、植物自生地、動物生息地等自然のままで保存すべき地域における植林、景観の復旧、動植物の保護等
- ②上記①の地域の環境の汚染又は破壊の防止につながるゴミ、廃棄物投棄の防止又はこれらの除去、又は清掃等
- ③すぐれた自然環境のなかで行われる自然観察会等
- ④生物多様性保全への理解促進のための広報及び自然保護の実践に資する調査・研究
- ⑤生物多様性保全への理解促進のための絵本、資料、視聴覚教材等の作成、配布
- ⑥生物多様性保全への理解促進のための展覧会、シンポジウム、研修会、交流会等の開催又はこれらへの参加
- ⑦上記以外の自然環境及び生物多様性の保全や災害防止、再生可能エネルギーの普及に寄与する新しいテーマによる活動

(3) 助成対象期間

平成27年4月1日～平成28年8月31日の間に実施する事業に使用した金額への助成。

2. 助成金額

原則として1件50万円以内とする。

3. 募集期間

平成27年4月1日～平成27年8月31日（当日消印有効）

4. 応募方法

当基金所定の申請書に必要事項を記入し、後記宛先へご郵送ください。申請書類は、伊予銀行の本・支店にご提出いただいても結構です。申請書は後記照会先記載のURLからダウンロードしてください（お電話でのご請求も承ります）。

なお、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

5. 選考及び通知

平成27年10月頃開催予定の当基金運営委員会において選考決定の上、その結果を書面にてお知らせします。

なお、選考漏れの場合、その根拠・理由等のお問い合わせにつきましてはお答えできませんのでご了承ください。

6. その他

(1) 活動成果及び助成金の使用結果について使用報告書及び成果報告書をご提出いただきます。

(2) 偽りその他不正な手続により助成金の交付を受けたり、又目的以外に費消したときは、授与した助成金は返還して頂きます。

7. 申請書の資料請求先・提出先

〒790-8514 松山市南堀端町1番地

伊予銀行 広報CSR室

公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』担当

TEL 089-941-1141(受付：平日9時～17時) FAX 089-946-9104

若しくは

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行 リテール受託業務部 公益信託グループ

公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』申請口

TEL 03-5232-8910(受付：平日9時～17時) FAX 03-5232-8919

申請書掲載URL <http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.htm>

銀行名	伊予銀行
タイトル	金融経済教育への取組み
取組み内容	愛媛県の将来を担う学生に、「銀行業務の仕組み」や「健全な金銭感覚」等を学んでもらうことを目的に金融経済教育に取り組んでいる。 ●小学生を対象に、春休みや夏休み期間等を利用して「キッズセミナー」を開催し、ゲーム等を交えながら楽しく銀行業務への理解浸透に貢献した。 26年度の開催内容は、合計で19回、参加生徒数は626名である。 (これまでの累計は65回、参加生徒数は2,134名) ●高校生を対象に、金融知力普及協会と連携して「エコノミクス甲子園 愛媛大会」を開催し、金融リテラシーの向上に貢献した。 26年度の開催内容は、愛媛県の高校10校から29チーム58名が参加した。 (これまで7回開催、207チーム412名が参加) ●小学生から大学生まで幅広い年代層を対象に、職場見学会、職場体験学習・インターンシップ、講師派遣・出前授業を行い、銀行業務への理解浸透に貢献した。 なお、26年度の開催内容は以下のとおりで、合計で36回、756名が参加した。 － 小学生の職場見学会（まちたんけん）：5回、60名が参加 － 小学生への講師派遣・出前授業：1回、40名が参加 － 中学生の職場体験学習・インターンシップ：12回、93名が参加 － 中学生への講師派遣・出前授業：2回、32名が参加 － 高校生の職場体験学習・インターンシップ：11回、212名が参加 － 高校生への講師派遣・出前授業：3回、287名が参加 － 専門学校生への職場見学会：1回、22名が参加 － 大学生の職場体験学習：1回、10名が参加

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



番町記者クラブ各位

平成27年1月5日

No. 15-002

株式会社 伊予銀行

金融教育講座「レシート探偵 経済を追え！」に講師を派遣します！

～愛媛県×えひめ地域政策研究センター×いよココロザシ大学×当行 協働企画～

株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、金融教育講座「レシート探偵 経済を追え！」に講師を派遣いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

この講座は、愛媛県が推進するNPO法人・企業・団体等の協働事業の一環として開催されるもので、身近なレシートの分析、クイズやゲームなどを通じて、経済について分かりやすくご説明いたします。

記

○「レシート探偵 経済を追え！」

項 目	内 容
日 時	平成27年1月6日（火） 9：30～12：30
会 場	当行南別館 ローンプラザ松山支店2Fセミナールーム
対 象	小学校5年生以上
定 員	20名
参加費	無料
内 容	日頃何気なく見ているレシートを使って身近な経済を読み解き、金融教育ゲームによりお金のやり取りを体験することで、自分自身と経済とのつながりを感じる。
主 催	公益財団法人えひめ地域政策研究センター、NPO法人いよココロザシ大学
協 力	愛媛県、NPO法人えひめリソースセンター、 NPO法人ライフサポートアゴラ、シェアライフデザイン、当行

○金融教育への取組みについて

当行では、オリジナル教材を活用して、小・中・高校生、大学生、社会人向けに幅広い金融教育活動を行っております。学校の教室、体育館やその他施設への講師派遣も行っておりますのでお気軽にご相談ください。

以 上

本件に関するご照会は下記までお願いします。

広報CSR室（担当：日野） TEL089-941-1141 （内線：2257）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



番町記者クラブ各位

平成27年3月6日

No.15-040

株式会社 伊予銀行

いよぎん金融教育教室「春のキッズセミナー」を開催します！

～坊っちゃん劇場様と共同開催！役者さんと協力して特別プログラムを実施～

株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、春休み期間に愛媛県内3つの会場でいよぎん金融教育教室「春のキッズセミナー」を開催いたしますので、下記のとおりお知らせします。

キッズセミナーは、将来を担う小学生の皆さんに銀行の仕組みや健全な金銭感覚などを学んでいただくことを目的に、平成19年から開催しております。今回は特別講師として坊っちゃん劇場の役者さんをお迎えし、体験型のワークショップも取り入れながら、楽しく学んでいただけるプログラムを予定しております。

記

○開催概要

項 目	内 容		
開 催 日	4月2日（木）	4月3日（金）	4月4日（土）
場 所	伊予銀行宇和島支店	伊予銀行今治支店	伊予銀行本店
時 間	各会場 9：30～12：30		
主な プログラム	・名刺を使って自己紹介しよう ・会社について学ぼう ・愛媛の特色を生かした会社をつくって発表しよう		
対 象 者	小学校 新5、6年生（保護者の方も見学いただけます）		
人 数	各会場 先着30名		
参 加 費	無 料		
申込方法	伊予銀行ホームページ「いよぎん金融教育教室」にある申込みフォームから必要事項を入力してお申し込みください いよぎん金融教育教室 検索 ＜締切日 3月25日（水）＞ ※定員に達し次第、締め切らせていただきます		

○金融経済教育への取り組み

当行では、キッズセミナーの他、当行オリジナル教材を活用し、小・中・高校生、大学生、社会人向けに幅広い金融経済教育活動を行っております。学校の教室、体育館やその他施設への講師派遣も行っておりますのでお気軽にご相談ください。

以 上

本件についてのお問合せは下記までお願いします。

広報CSR室（担当：日野、宮内）TEL089-941-1141（内線：2257、2233）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

伊予銀行・坊っちゃん劇場 共同開催
いよぎん金融教育教室「春のキッズセミナー」
～愛媛発！起業にチャレンジ～

開催地区	宇和島会場	今治会場	松山会場
日程	4/2（木）	4/3（金）	4/4（土）
会場	伊予銀行 宇和島支店 宇和島市新町2丁目8-3	伊予銀行 今治支店 今治市常盤町4丁目2-1	伊予銀行 本店 松山市南堀端町1番地
時間	9：30～12：30		
対象・定員	小学校 新5～6年生・各会場先着30名（保護者見学可） ※申込み状況は当行HPでご確認いただけます。		
申込み締切日	3/25（水）		
プログラム	グループで「愛媛の特色を生かした会社」を作って発表します。 ①開講式 ②名刺を使って自己紹介しよう ③会社について学ぼう ④愛媛の特色を生かした会社を作って発表しよう ⑤閉講式、記念撮影		
持ち物	筆記用具、電卓 坊っちゃん劇場 役者と一緒に ゲームにも挑戦！ 参加費無料！ ※座席・グループ分けは当日クジ引きで行います。		

お申込み方法

伊予銀行HP「いよぎん金融教育教室」にある申込みフォームから必要事項を入力してお申込み下さい。

いよぎん金融教育教室

検索

「春のキッズセミナー」
参加者募集中！！

※申込み締切日日前でも定員に達し次第、締め切らせていただきます。

伊予銀行HP「いよぎんキッズ」内の「いよぎんキッズからのお知らせ」に過去のセミナーのようすを掲載しております。

【HPアドレス】 <http://www.iyobank.co.jp/kids/news/index.htm>

【電話番号】 (089) 941-1141 [平日9：00～17：30まで]

問合せ先 伊予銀行 広報CSR室 金融教育担当 宮内・日野まで。



「いよぎんキッズからのお知らせ」



昨年夏のセミナーのようす



- ①申込者の個人情報は、当セミナーに関する事務以外に使用することはありません。
- ②セミナーの様子を撮影し、当行ならびに坊っちゃん劇場のHP、冊子などに掲載する場合があります。また、当日はマスコミ等の取材が入る場合があります。ご了承下さい。
- ③伊予銀行は、愛媛県教育委員会と「えひめ家庭教育サポート企業連携事業協定」を締結しております。

銀行名	伊予銀行
タイトル	文化・スポーツ活動への取組み
取組み内容	地域文化の発展と向上のお役に立ちたいとの思いから、平成4年より「伊予銀行地域文化活動助成制度」の活動を始め、愛媛県内で伝統性のある草の根的な文化活動を継続している団体等に活動資金の一部を助成している。 また、地域のスポーツ振興に貢献したいとの思いから、昭和60年に女子ソフトボール部、平成元年にテニス部を創部して活動を続け、スポーツを通じた地域活性化に取り組んでいる。 ●「伊予銀行文化活動助成制度」の活動としては、年度で2回、愛媛県内で文化活動を継承している団体からの助成金申請を受け、有識者から成る「伊予銀行文化振興顧問団」の意見を参考に審議して助成金を交付している。 例年4月と10月に助成先を決定しており、26年度は合計で39先、7,200千円の助成金を交付した。（これまでの累計は996先、189,040千円） ●女子ソフトボール部は、日本リーグ1部で活動して地域のスポーツ振興に貢献するとともに、ジュニア選手を対象とした「ジュニアソフトボール教室」を冬季に開催して地域の選手育成にも取り組んでいる。 ●テニス部は、日本リーグで活動して地域のスポーツ振興に貢献するとともに、ジュニア選手を対象とした「いよぎんテニスみらい塾」を毎週開催して地域の選手育成にも取り組んでいる。 ●平成26年からサッカーJ2所属の「愛媛FC」のユニフォーム（背中）スポンサーを務めるとともに、「愛媛FC J1昇格サポート協議会」の会長を大塚頭取が務めるなど、サッカーを通じた地域活性化に取り組んでいる。